



FocusAI ドーム型カメラ FD10-256

ユーザーマニュアル

**著作権所有 © FocusAI Inc, 2023 。全著作権所有。**

FocusAI Inc. の事前の書面による同意なしに、本書のいかなる部分も、いかなる形式または方法によっても複製または送信することはできません。

**商標およびライセンス**

**FOCUS AI** およびその他の FocusAI 関連の商標は、FocusAI Inc. の商標です。  
本書に記載されているその他すべての商標および商号は、それぞれの所有者に帰属します。

**注意事項**

購入された製品、サービス、および機能は、FocusAI とお客様との間で締結された契約に基づき提供されます。本書に記載されている製品、サービス、機能の一部または全部が、実際の購入範囲や使用範囲に含まれない場合があります。

契約に特別な定めがない限り、本書に記載されたすべての説明、情報、および提案は「現状のまま」提供され、いかなる明示または黙示の保証、担保、表明も含まれません。

本書の内容は予告なく変更される場合があります。本書の作成にあたり、正確性を確保するため最善の努力を尽くしておりますが、本書に記載されたすべての説明、情報、および提案について、明示または黙示のいかなる保証も行いません。

**FocusAI Inc.,**  
530 Lakeside Drive, Ste 180  
Sunnyvale, CA 94085  
United States

網址: <https://focusai.com>

## 本書について

### 目的

本書は、FocusAI Dome Camera **FD10-256** の設置および使用方法について説明することを目的としています。

### 免責事項

使用者は、関連する法律および規制を遵守し、適切な法的管轄内で映像監視システムを設置・運用する必要があります。本製品の不正使用や、他者のプライバシーを侵害する行為は禁止されています。

### 対象読者

本書は、FocusAI Dome Camera の使用者および設置担当者を対象としています。

## 目次

本書について.....	3
<b>1. 安全上の注意事項.....</b>	<b>6</b>
1.1. 基本要件.....	6
1.2. 電源要件.....	6
1.3. 使用上の注意.....	6
1.4. 清掃時の注意.....	6
1.5. 環境要件.....	6
1.6. ファイアウォール/ネットワーク接続ポート要件.....	7
<b>2. 製品仕様.....</b>	<b>8</b>
2.1. 概要.....	8
2.2. カメラ仕様.....	9
2.3. 機能説明.....	9
<b>3. クイックスタート.....</b>	<b>10</b>
3.1. 電源要件と物理的な設置.....	10
3.2. 設置.....	10
3.3. カメラの有効化.....	11
<b>4. Vantage ユーザーガイド.....</b>	<b>12</b>
4.1. 概要.....	12
4.2. 組織の作成.....	12
4.3. カメラの有効化.....	12
4.4. ダッシュボード.....	13
4.5. ライブ映像の閲覧.....	14
4.6. 検索.....	15
4.7. イベント/アラート.....	15
4.8. フットプリント（足跡）.....	16
4.9. Merlin スマートアシスタント.....	17
4.10. 設定.....	18
<b>5. <u>トラブルシューティング</u>.....</b>	<b>19</b>
<b>6. 付録.....</b>	<b>21</b>

<b>6.1.</b>	<b>付録 A</b> .....	<b>21</b>
<b>6.2.</b>	<b>付録 B</b> .....	<b>22</b>
<b>6.3.</b>	<b>付録 C</b> .....	<b>23</b>
<b>6.4.</b>	<b>付録 D</b> .....	<b>24</b>
<b>6.5.</b>	<b>付録 E</b> .....	<b>24</b>

## 1. 安全上の注意事項

本製品を設置・使用する前に、本書の内容を十分に読み、指示に従ってください。不適切な操作を行うと、機器の故障や人身事故の原因となる可能性があります。

- FocusAI は、本製品の誤使用または不適切な操作による損害について一切の責任を負いません。
- 本書に掲載されている製品の外観および画面のスクリーンショットは参考用です。
- 製品やサービスの仕様は予告なく変更される場合があります。
- 最新のドキュメントについては、FocusAI サポートチーム (support@focusai.com) までお問い合わせいただくか、公式サイト (<http://focusai.com>) をご覧ください。

### 1.1. 基本要件

- FocusAI の明確な許可なく、製品の改造・変更を行わないでください。
- 必ず供給元の指示に従って設置・使用してください。
- 本製品を分解しないでください。万が一故障した場合は、FocusAI までお問い合わせください。
- 本製品を使用する際は、関連する法律および規制を遵守してください。

### 1.2. 電源要件

- 当地の電気安全規格に準拠してください。
- 電源電圧は、機器の仕様に適合するものを使用してください。
- 本製品には、認定された付属品のみを使用してください。

### 1.3. 使用上の注意

- 設置手順に従い、正しく設置してください。
- 点検や取り外しは、専門の訓練を受けた技術者に依頼してください。
- 異臭や異音が発生した場合は、直ちに使用を中止し、電源を切ってください。
- 監視カメラを設置する場合は、当地の法律・規制に基づき監視告知を行ってください。

### 1.4. 清掃時の注意

- 清掃を行う前に、必ず電源を切り、すべてのケーブルを取り外してください。
- 柔らかい布で機器のホコリを拭き取ってください。
- 強アルカリ性の洗剤や研磨剤、アルコール、ベンゼン、シンナーなどの揮発性溶剤は使用しないでください。機器の表面コーティングが損傷したり、性能が低下する原因となる可能性があります。

### 1.5. 環境要件

- 輸送・保管・設置時は、本製品を乾燥した状態に保ち、過度な振動を避けてください。
- 機器を熱源や火気の近くに設置しないでください。
- 可燃物や爆発物の近くで使用しないでください。

## 1.6. ファイアウォール／ネットワーク接続ポート要件

FocusAI デバイスをネットワークに接続するには、以下の対応が必要になる場合があります：

- ファイアウォールで以下のポートおよび通信プロトコルを許可すること
- ローカルエリアネットワーク（LAN）内でカメラを視聴するために、カメラのローカルサブネットへのルートを設定すること

FocusAI デバイスが制限のあるネットワークに接続される場合は、すべての組織および地域で適用可能な以下の汎用ドメインを許可してください。

\*.focusai.com - UDP/123、TCP+UDP/443、TCP/1935、TCP+UDP/8000、TCP/8883

\*.amazonaws.com - TCP+UDP/443

## 2. 製品仕様

### 2.1. 概要

本書では、FocusAI Dome Camera **FD10-256** の使用方法および操作に関する基本情報を詳しく説明します。**FD10-256** は、高精度の業務用セキュリティカメラであり、先進的な機能を備えた強力な映像監視ソリューションを提供しつつ、システム全体のコスト最適化を実現します。



図1 : FocusAI ドーム型カメラ FD10-256



## 2.2. カメラ仕様

カテゴリ	仕様
カメラセンサー	IMX335
センサー解像度	5MP (2592x1944)
レンズタイプ	固定焦点
イメージセンサー	1/2.8" Progressive CMOS
焦点距離	f=2.8mm
絞り	固定
絞り値	F1.6
視野角	水平: 104°、垂直: 77°、対角: 141°
フレームレート	24fps
赤外線照射距離	20 M/60ft
PoE (Power over Ethernet)	DC 44-57V POE IEEE 802.3at
イーサネット	RJ45, (10/100 BaseT)
防護等級	IK10 および IP67

## 2.3. 機能説明

FocusAI Dome FD10-256 は、FocusAI のクラウド直結型 VSaaS プラットフォーム Vantage の一部です。本カメラは FocusAI Vantage プラットフォーム上でのみ有効化・使用することができます。

本カメラは Power over Ethernet (PoE) に対応しており、ネットワークポートは DHCP に設定されています。ネットワークに接続すると、自動的にサーバーから IP アドレスを取得します。

カメラは内蔵 SD カードストレージに映像を継続的に録画します。モデルによって、30日・60日・90日以上の映像保存オプションが用意されています。録画された映像は H.264 および H.265 に準拠し、Vantage プラットフォーム上でライブ映像の視聴および録画映像の再生が可能です。

## 3. クイックスタート

### 3.1. 電源要件と物理的な設置

FocusAI カメラは、最低 20W の電力を供給できる Power over Ethernet (PoE) 対応スイッチまたは PoE 電源アダプター を使用して給電することができます。

以下の図は、カメラへの Ethernet ケーブル接続方法 を示しています。



図2: PoE ケーブルの接続

設置: カメラは、木材、石膏ボード、または天井タイルなど、さまざまな表面に固定できます。適切な設置方法については、設置担当者と相談の上、決定してください。

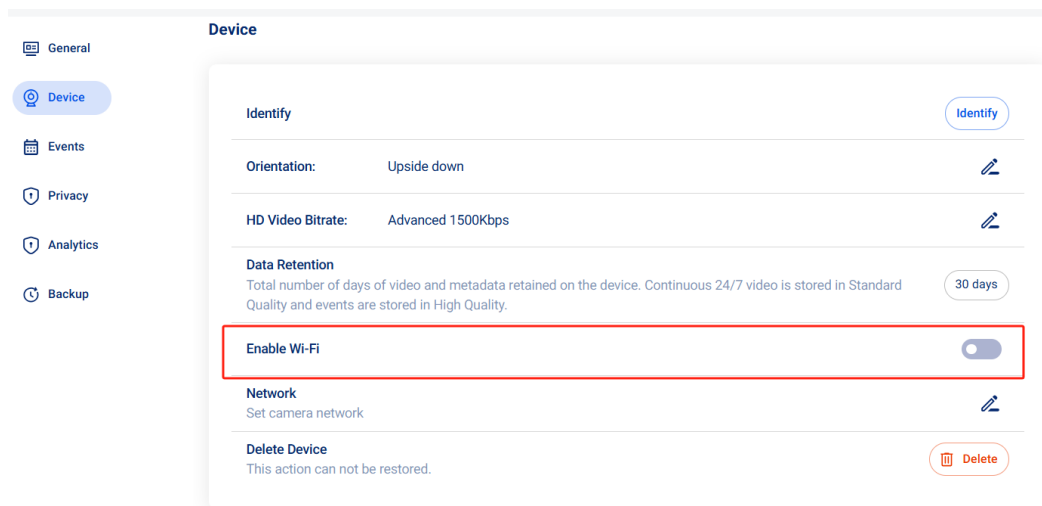
### 3.2. 設置手順

1. 付属のドライバーを使用し、FocusAI ドーム型カメラの **T20 ネジ 3 本** を取り外し、カメラカバーを外します。
2. カメラを設置したい壁面に配置し、カメラベースを固定するための 3 つの穴 をマーキングします。推奨設置高さは、地面から 10~15 フィート (約 3~4.5 メートル) です。
3. 電動ドリルを使用して、マーキングした位置に穴を開け、付属の壁用アンカー を石膏ボードに取り付けます。
4. 壁用アンカーを穴にしっかりと差し込みます。
5. CAT5/6 ネットワークケーブル を背面のケーブル配線スリーブに通し、固定します。余分なケーブルは整理して隠してください。
6. 付属のネジを使用し、カメラを壁面にしっかりと固定します。事前に取り付けた壁用アンカー を利用してください。
7. カメラを完全に設置した後、FocusAI モバイルアプリまたはウェブサイト を開き、カメラの角度や向きを調整し、適切な監視範囲を確保してください。カメラはすでに起動しており、ライブ映像を確認できます。
8. 調整が完了したら、T20 ネジ を使用してカメラカバーを再び取り付けます。ドーム型カバーとカメラベースの三角形のアライメントマーク を合わせて固定してください。
9. カメラの設置が完了し、準備が整いました。

### 3.3. カメラの有効化

1. カメラをネットワークポートに接続し、TCP/IP アドレスを取得します。  
(ヒント：このバージョンでは、最初に 有線 (Ethernet) 接続 を行い、その後 Wi-Fi 設定 を行ってください。)

カメラのデバイス設定ページを開き（下図参照）、Wi-Fi を有効化します。



2. <https://vantage.focusai.com> にアクセスし、組織を作成します。
  1. 有効化メールが送信されます。メール内に記載されたアクティベーションリンクをクリックしてください。
3. Vantage にログインし、作成した組織にアクセスします
4. 左下の「+」ボタンをクリックし、最初のカメラを追加します。
5. カメラのシリアル番号を入力します。  
(シリアル番号は、カメラのパッケージまたは本体底部に記載されています。)
6. 「カメラを有効化」をクリックします。
  1. デバイス名を追加します。
  2. 既存のサイトを選択するか、新規サイトを追加します。
  3. タイムゾーンを選択します。
  4. 「デバイスを有効化」をクリックします。
7. カメラの起動には 2~5 分かかる場合があります。起動時間はネットワーク接続速度によって異なります。カメラの映像が表示されると、セットアップ完了です。人物認識、ナンバープレート認識、トラッキング機能などの詳細ガイドについては、カスタマーサポート担当者までお問い合わせください。

## 4. Vantage ユーザーマニュアル

### 4.1. 概要

FocusAI Vantage は、カメラの管理、ライブ映像の視聴、録画の再生を行うための VSaaS プラットフォームです。組織は Vantage を利用して、すべてのカメラを一元管理することができます。カメラはサイトや建物単位で整理することが可能です。また、カメラのシリアル番号を使用して、Vantage 内で新しいカメラを有効化することができます。さらに、本プラットフォームでは、以下のような高度な機能を提供しています、イベント検索、人物検索、車両検索、これらの機能は、複数のカメラまたは単一のカメラで実行できます。以下では、これらの機能をどのように使用するかについて説明します。

### 4.2. 組織の作成

Vantage を利用するには、最初に組織を作成する必要があります。

<https://vantage.focusai.com> にアクセスすると、以下の初期画面が表示されます。

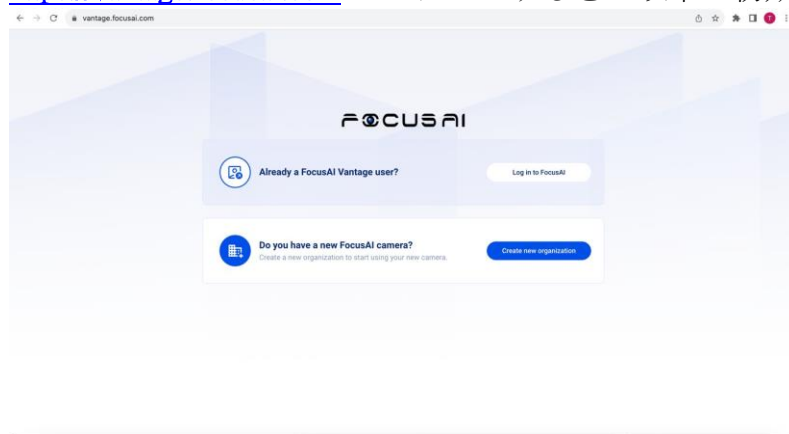


図3: Vantage - 組織の作成

初めて利用する際は、「新しい組織を作成」をクリックし、画面の指示に従って設定を進めてください。これにより、組織管理者アカウントが作成されます。アカウント作成時に、ユーザー名（メールアドレス）とパスワードを設定する必要があります。登録したメールアドレスに Vantage からの確認メールが送信されるので、受信トレイを確認し、メール内の確認リンクをクリックしてください。確認が完了すると、アカウントの設定が完了します。これで、<https://vantage.focusai.com> にログインし、組織の管理を開始できます。

### 4.3. カメラの有効化

Vantage にログイン後、左下の「+」（デバイス追加）メニューをクリックし、最初のカメラを追加します。次に、デバイスのシリアル番号を入力できる画面が表示されます（下図参照）。シリアル番号を入力したら、「デバイスを有効化」ボタンをクリックしてください。

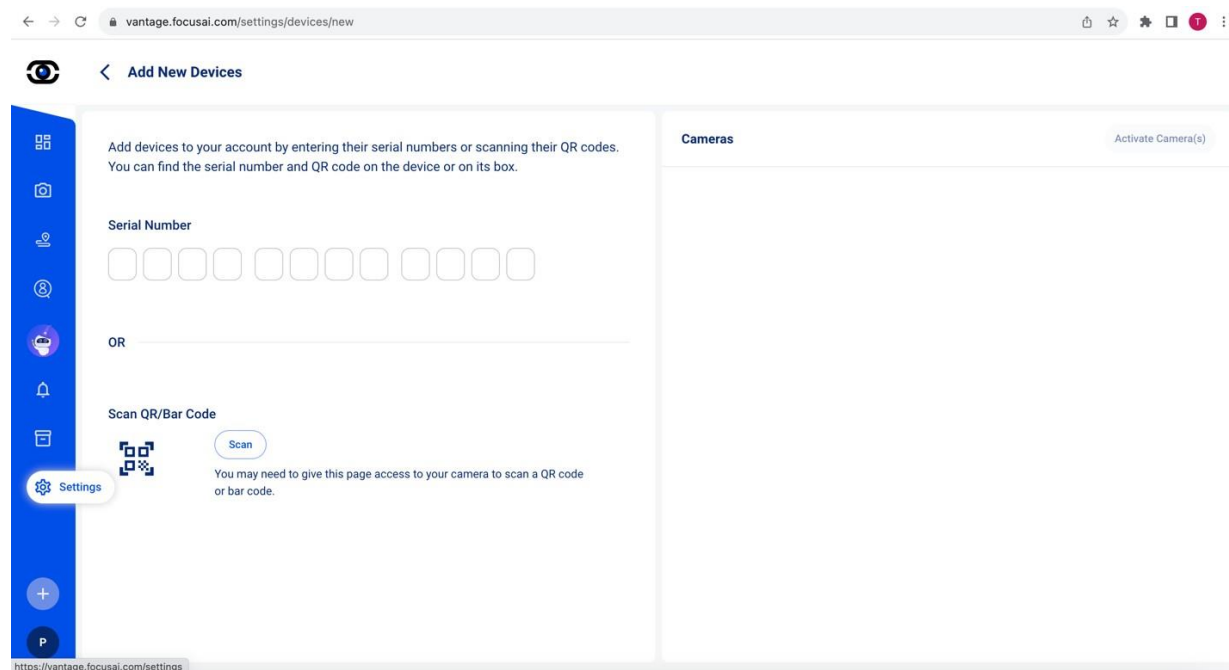


図4：Vantage - カメラの有効化

画面の指示に従い、デバイスの有効化を行ってください。  
デバイス名、設置場所、住所などの必要な情報を入力します。

カメラの起動時間はネットワークの速度によって異なりますが、通常2～5分ほどかかります。

画面上にカメラのライブ映像が表示されたら、有効化は完了です。

#### 4.4. ダッシュボード

ダッシュボードは、組織内のカメラの状態を確認できるインターフェースです。使用中/非使用中のカメラのステータスが表示されるほか、最新のイベントや、最近識別された人物・車両の概要も確認できます。

さらに、さまざまな統計データのグラフ表示も提供されています。

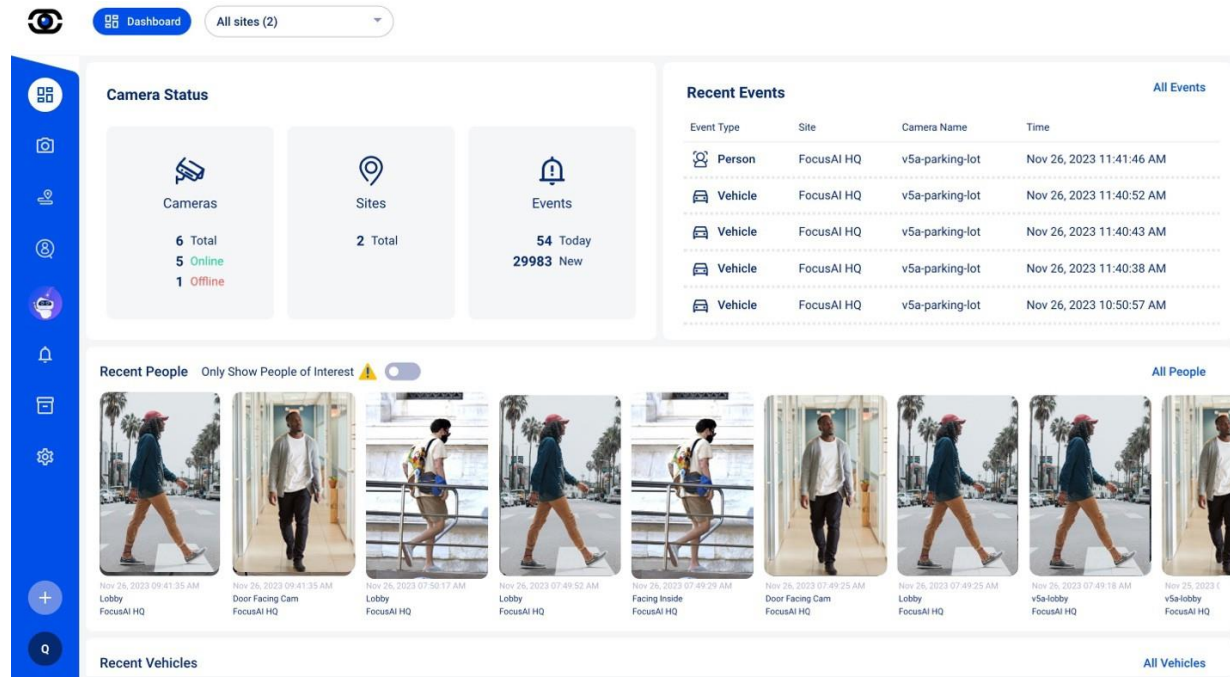


図5: Vantage - ダッシュボード

#### 4.5. ライブ映像の閲覧

ライブ映像ページでは、ユーザーがカメラを個別またはサイト単位で確認できます。Vantageは、強力なグリッドビュー機能を提供しており、以下のレイアウトでカメラ映像を表示できます（1x1、2x2、3x3、4x3、6カメラビュー）。これらのレイアウトは、ページ上部のアイコンボタンから簡単に選択できます。

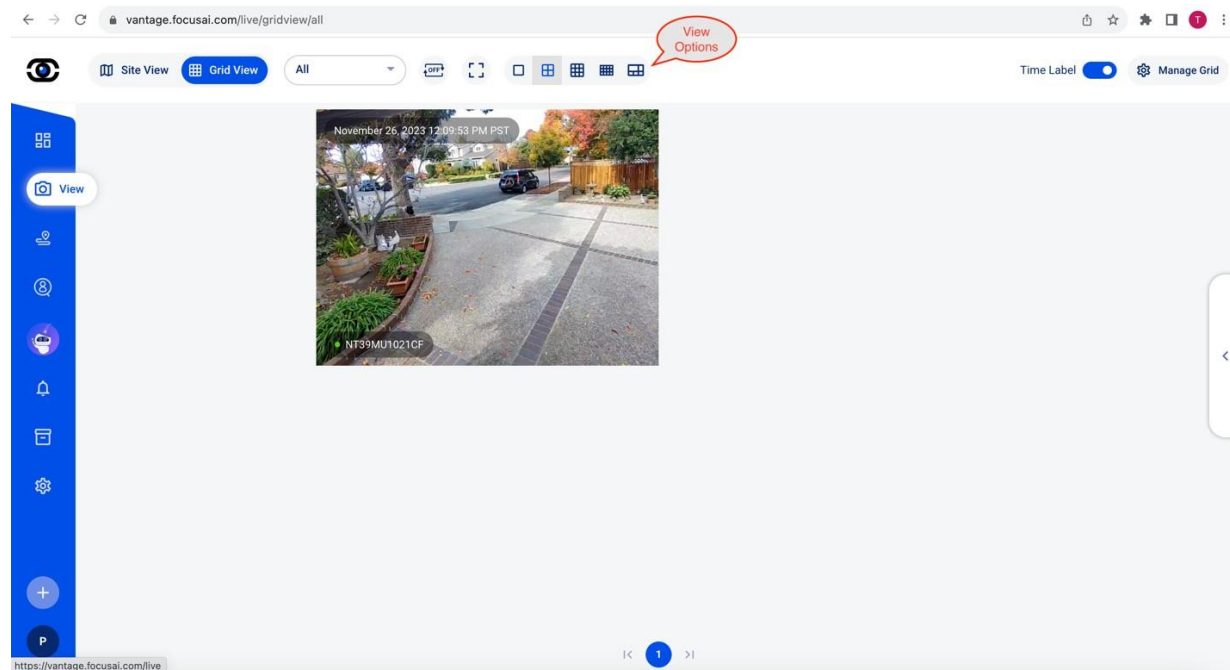


図6: Vantage - ライブ映像の閲覧

Vantage では、ユーザーが「グリッド」を定義することで、カスタムビューを作成できます。「グリッド管理」ボタンを使用して、新しいグリッドを作成・設定することが可能です。

#### 4.6. 検索

Vantage の 左側メニュー には、人物検索 および 車両検索 のページが用意されています。これらのページでは、カメラが撮影した 人物のサムネイル画像 を一覧で確認できます。サムネイルには、カメラの一定範囲内で撮影された人物が表示されており、これらの画像を基に 人物検索 を行うことができます。ユーザーは、特定の時間範囲、使用するカメラ、人物の衣服の色などの条件で検索結果をフィルタリングでき、サムネイルをクリックすると該当の映像イベントを再生できます。

同様に、車両検索 タブでは、カメラが撮影した 車両のサムネイル画像 が一覧表示されます。車両検索も、時間範囲・カメラ・車両の色などの条件で絞り込みが可能です。ユーザーが任意のサムネイルをクリックすると、該当する車両の録画映像が再生されます。

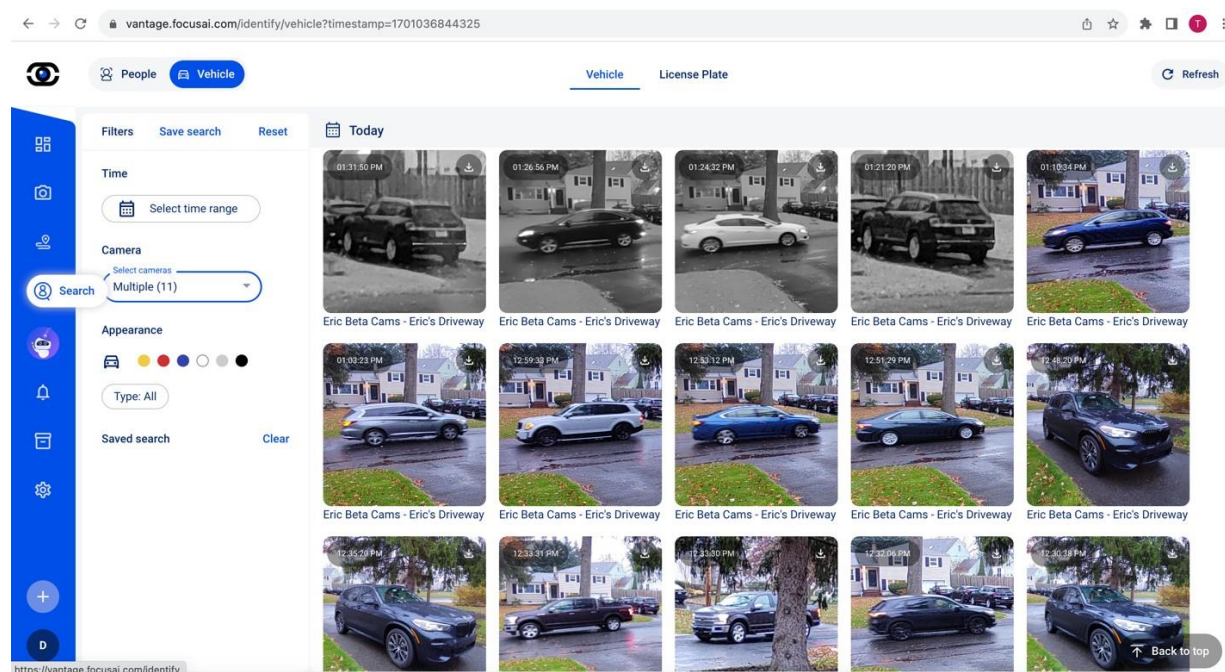


図7: Vantage - 検索 - 車両ページ

#### 4.7. イベント/アラート

Vantage には、イベント/アラート専用のページがあり、サイドメニューからアクセスできます。イベントページには、カメラが識別したすべてのイベントが表示され、検索ページとは異なり、カメラが撮影したすべてのイベントが記録されます。一方、検索ペ

## FD10-256 ドーム型カメラ ユーザーマ

ージでは、検索可能な人物イベントのみが表示されます。ユーザーは、すべてのイベントを確認できるほか、人物、車両、重要人物、群衆、武器といったフィルターを使用して特定のイベントを絞り込むことができます。また、個別のイベントを選択して、その映像クリップを再生することも可能です。

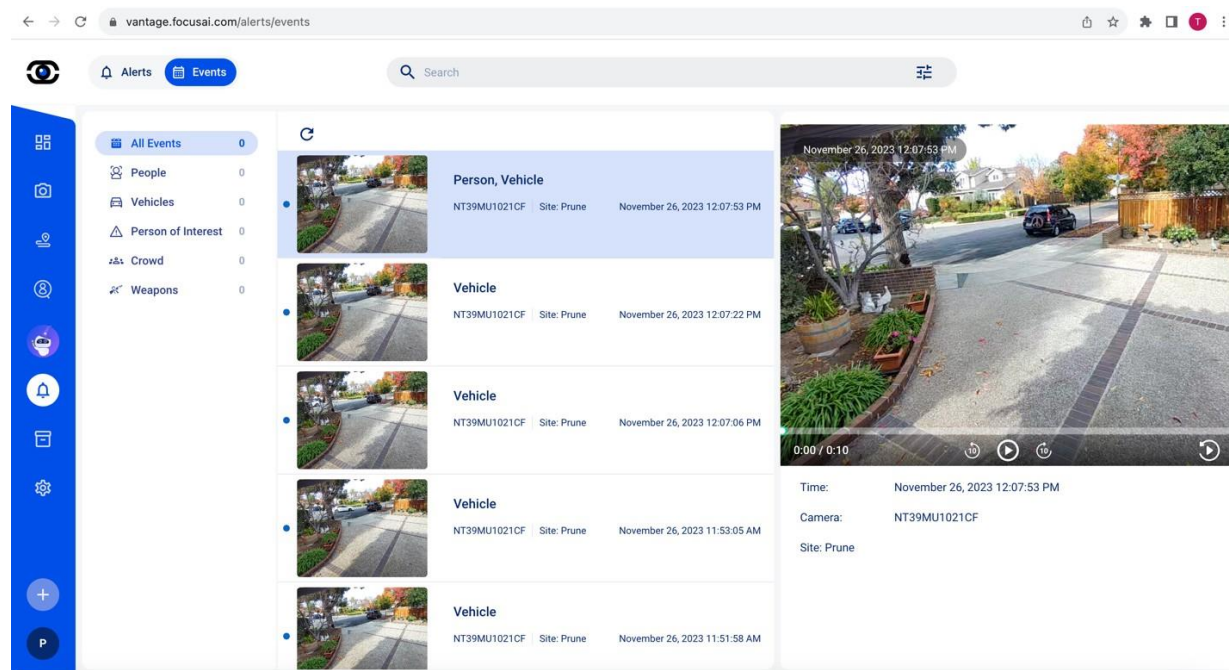


図8 : Vantage - イベントページ

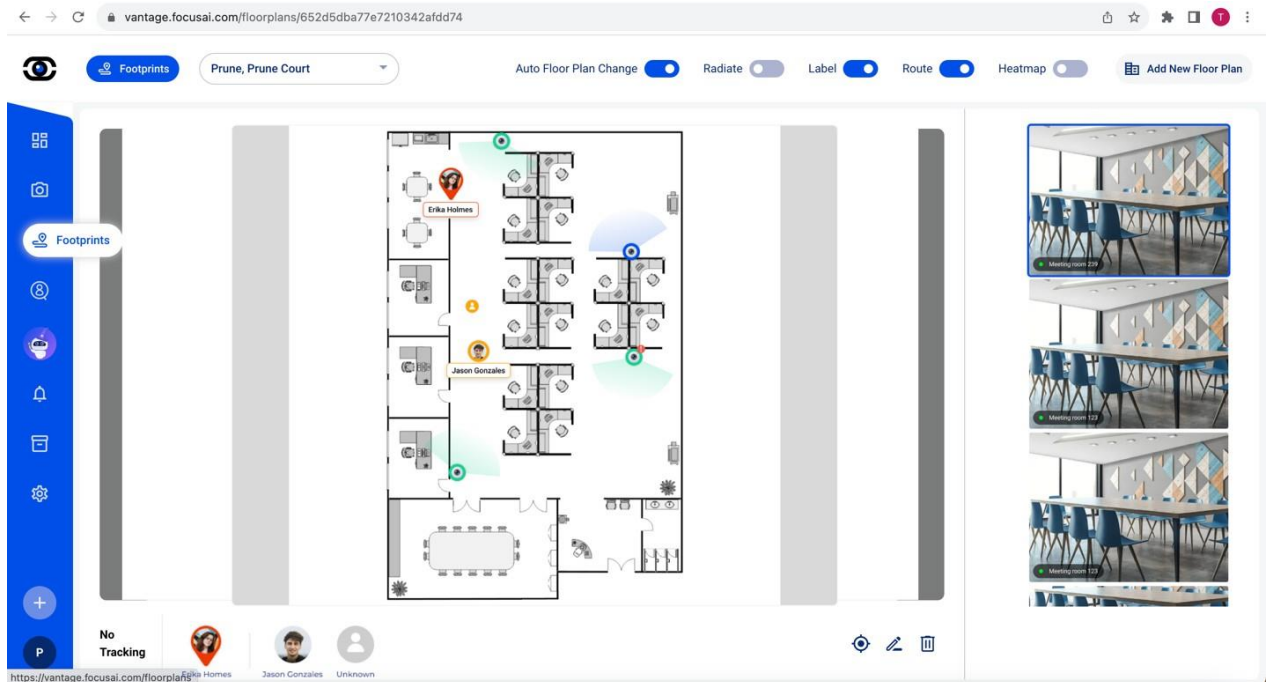
アラートインターフェースでは、ユーザーは「新しいアラート」ボタンを使用して新規アラートを設定できます。また、「アラート管理」ボタンから既存のアラート設定を変更することも可能です。ユーザーは、特定の条件でアラートを設定し、アラートがトリガーされた際にシステムからメール通知を受け取るように設定できます。

### 4.8. フットプリント（足跡）

フットプリントは、Vantage独自の機能であり、ユーザーが平面図や衛星画像を活用して、カメラの配置状況を俯瞰的に表示できる機能です。このフットプリント機能を使用すると、ユーザーは平面図上で人物の移動履歴を確認できます。人物はアイコン（頭部シルエット）で表示され、対応する顔のサムネイル画像も添付されます。この高度な機能により、1台または複数のカメラの監視範囲内での人物の移動状況を、直感的かつ詳細に把握できます。



## FD10-256 ドーム型カメラ ユーザーマ



### 4.9. Merlin スマートアシスタント

Merlin は、FocusAI のインテリジェントアシスタントです。Merlin は自然言語インターフェースを提供し、ユーザーが録画映像を簡単に検索・閲覧できるようにします。従来のユーザーインターフェースでは、時間範囲・カメラ・色などの条件を手動で選択する必要があり、操作が煩雑でした。

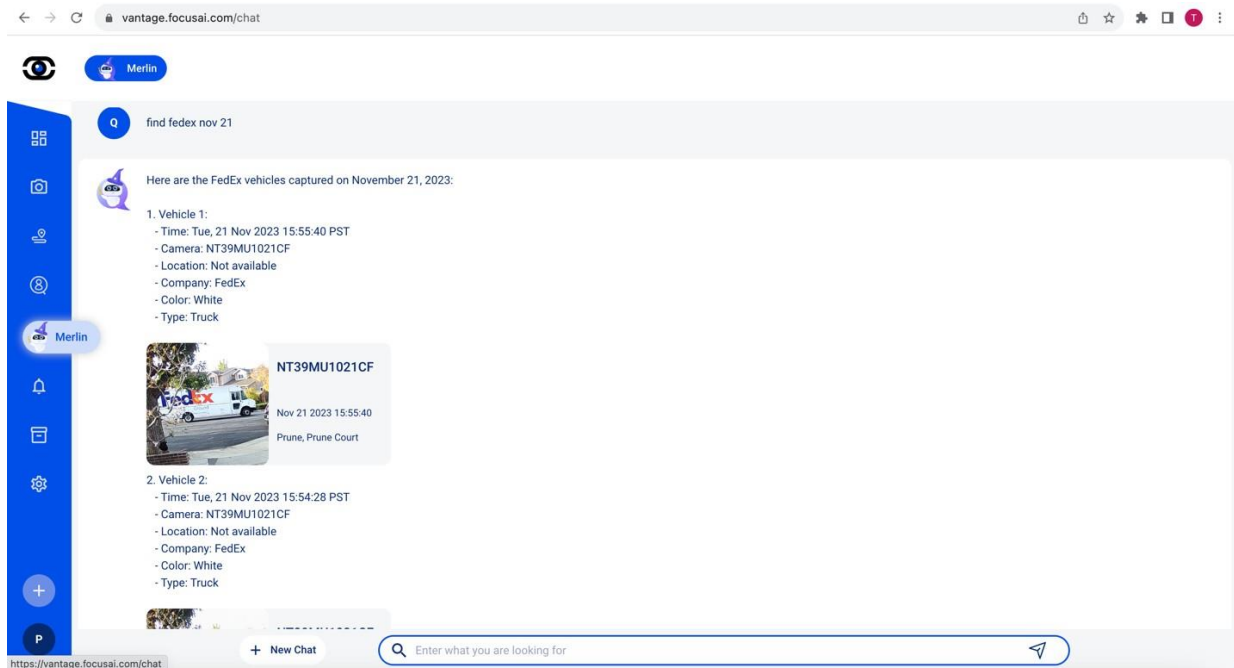


図9: Vantage - Merlin 対話例

Merlin はシンプルなインターフェースを提供し、ユーザーは自然な会話形式で映像データを検索できます。例えば、「昨日の Chris を探して」や「先週金曜日の FedEx を見つけて」といったフレーズを使うことで、録画データを簡単に検索できます。Vantage Merlin は、ユーザーの自然言語クエリに応じて、録画ファイルから関連する映像データをインテリジェントに抽出し、表示します。Merlin の使用方法に関するご質問は、FocusAI カスタマーサポート（[support@focusai.com](mailto:support@focusai.com)）までお問い合わせください。

#### 4.10. 設定

設定ページは主に管理者向けのページであり、組織レベルの設定、デバイス設定、ユーザー管理を行うことができます。デバイス管理とユーザー管理には、それぞれ専用の設定インターフェースが用意されており、ユーザーごとのアクセス権限は設定によって異なります。組織管理者はすべての機能にアクセス可能ですが、その他のユーザーは役割と権限に応じて利用できる機能が制限されます。

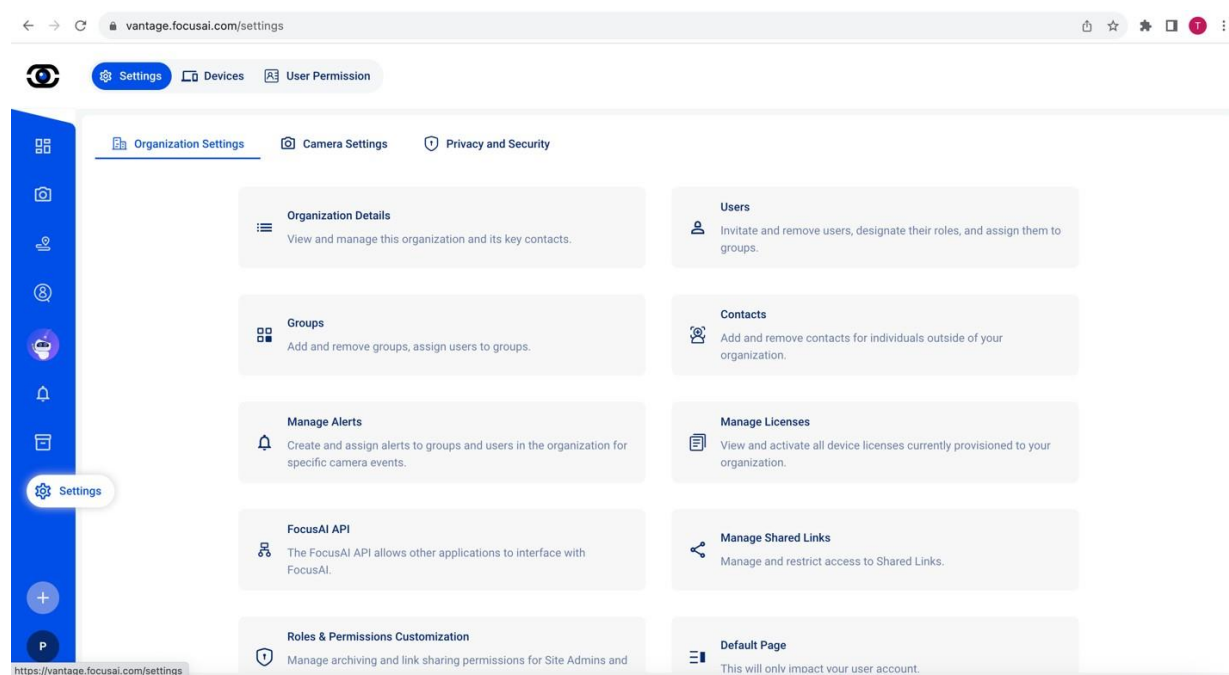
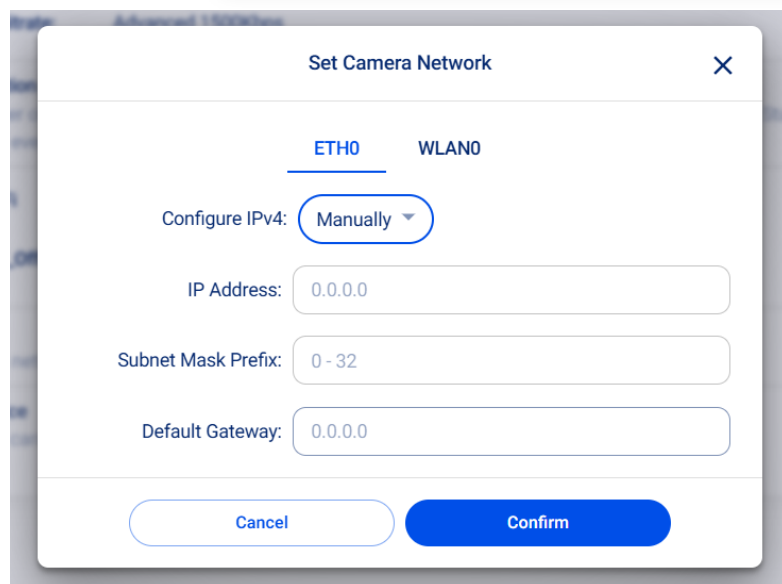
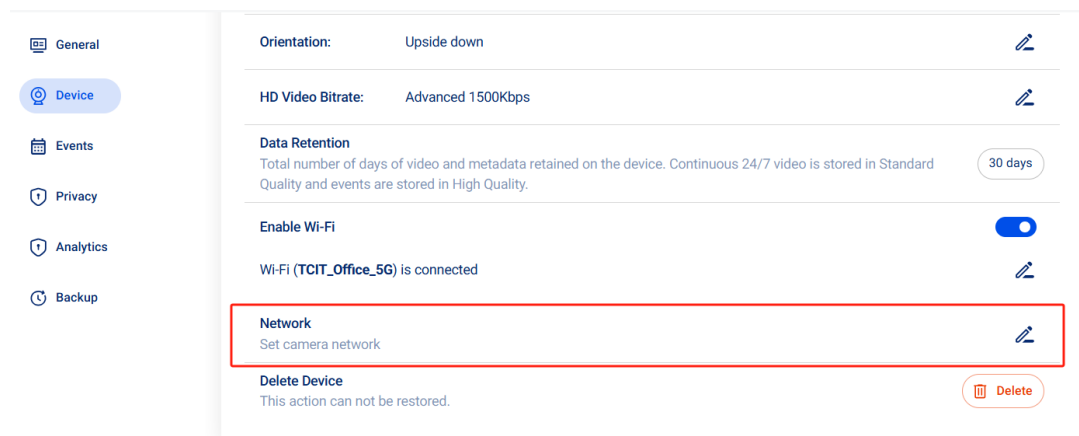


図10: Vantage - 設定

静的 IP を使用する場合は、まず DHCP ネットワーク接続を行い、その後デバイス設定で指定の IP アドレスに変更してください（下図参照）

## FD10-256 ドーム型カメラ ユーザーマ



### 5. トラブルシューティング

ocusAI Dome FD10-256 は、フルクラウド管理に対応したカメラです。FocusAI Vantage はデバイスのステータスを常時監視し、ダッシュボードを通じてユーザーに統計データを提供します。

デバイスが正常に動作しない場合は、以下のトラブルシューティング表を参考にして問題を解決してください。

問題	考えられる原因	解決策
LED が赤く点滅	ネットワーク接続が切断されている	ネットワークを確認し、カメラがローカルネットワークに接続されていることを確認してください。
Vantage アカウントにログインできない	パスワードを複数回誤入力した、またはパスワードを忘れた	Vantage のパスワードリセット機能を使用するか、メール内のリンクからパスワードをリセットしてください。
録画映像が再生できない	使用している PC やブラウザが H.265 再生に対応していない	H.265 に対応した PC / ブラウザを使用してください。Google Chrome を推奨します。
カメラを有効化できない	カメラがインターネットに接続されていない	DHCP 機能付きのネットワーク（インターネット接続可能なルーターやスイッチ）に PoE ネットワークケーブルを接続し、カメラが自動的に IP アドレスを取得できるようにしてください。

その他の問題については、カスタマーサポート担当者までお問い合わせいただくか、[support@focusai.com](mailto:support@focusai.com) までメールでご連絡ください。

## 6. 付録

### 6.1. 付録 A

#### EU および英国の規制情報

##### Wi-Fi 動作仕様 – 周波数範囲

周波数範囲:

2.4G Wi-Fi: 2412-2472MHz/2422-2462MHz

5G Wi-Fi: 5150-5250 MHz, 5250-5350MHz, 5470-5725MHz, 5725-5850MHz

RF 出力電力:

2.4G Wi-Fi: 19.73dBm

5G Wi-Fi:

5150-5250MHz: 22.78dBm

5250-5350MHz: 19.97dBm

5470-5725MHz: 19.20dBm

5725-5850MHz: 13.96dBm



UK

Operation of 5150-5350 MHz is restricted to indoor use only.



BE	BG	CZ	DK	DE	EE	IE	EL
ES	FR	HR	IT	CY	LV	LT	LU
HU	MT	NL	AT	PL	PT	RO	SI
SK	FI	SE	NO	IS	LI	CH	TR

In all EU member states, operation of 5150-5350 MHz is restricted to indoor use only.

## 6.2. 付録 B

### FCC に関する注意事項

本機器に対する 適合責任者の明確な承認を受けていない変更や改造 は、使用者の本機器の操作権限を失う可能性があります。

本機器は FCC 規則 Part 15 に準拠しています。使用に際しては、以下の 2 つの条件に従う必要があります。(1) 本機器は、有害な干渉を引き起こしてはならない (2) 本機器は、望ましくない動作を引き起こす可能性のある干渉を含め、受信したあらゆる干渉を受け入れなければならない。

#### 重要事項:

本機器は FCC 規則 Part 15 の Class B デジタル機器の制限 に適合していることが試験により確認されています。この制限は、住宅環境における無線通信への 有害な干渉を防止するための適切な保護 を目的としています。特定の設置環境において干渉が発生しないことを保証するものではありません。もし、本機器が無線通信やテレビの受信に干渉を引き起こす場合は、以下のいずれかの方法、または複数の方法を試して、干渉を解決してください。

- 受信アンテナの方向や設置位置を変更する。
- 本機器と受信機の距離を離す。
- 本機器を、受信機とは別の電源回路に接続する。
- 販売店や無線/テレビ技術者に相談する。

#### FCC 電磁波放射に関する声明:

本機器は、FCC が定める制御環境における電磁波放射の制限 に適合しています。本機器を設置・使用する際は、放射源と人体との距離を 最低 20 cm 以上確保してください。

#### ISED に関する警告 (カナダ)

本機器は、カナダのイノベーション・科学・経済開発省 (ISED) のライセンス不要 RSS 規格 に適合しています。使用に際しては、以下の 2 つの条件に従う必要があります。

- (1) 本機器は、干渉を引き起こしてはならない
- (2) 本機器は、望ましくない動作を引き起こす可能性のある干渉を含め、受信したあらゆる干渉を受け入れなければならない。

*Le présent appareil est conforme aux CNR d'Innovation, Sciences et Développement économique Canada applicables aux appareils radio exempts de licence. L'exploitation est autorisée aux deux conditions suivantes :*

- (1) *l'appareil n' doit pas produire de brouillage, et*
- (2) *l'utilisateur de l'appareil doit accepter tout brouillage radioélectrique subi, même si le brouillage est susceptible d'en compromettre le fonctionnement.*

5150-5250 MHz 帯の使用は、屋内環境に限られます。

*Le fonctionnement de 5150-5250 MHz est limité à une utilisation en intérieur uniquement.*

本機器は、RF (電磁波) 曝露ガイドラインに適合しています。使用者は、RF曝露および適合性に関するカナダの情報を取得できます。本機器を使用する際は、人体との最小距離を 20 cm 以上確保してください。

*Le présent appareil est conforme Après examen de ce matériel aux conformité ou aux limites d'intensité de champ RF, les utilisateurs peuvent sur l'exposition aux radiofréquences et la conformité and compliance d'acquérir les informations correspondantes. La distance minimale du corps à utiliser le dispositif est de 20cm.*

### 6.3. 付録 C

**WEEE 声明:**

本機器はリサイクル可能です。

本製品には WEEE マーク（左図参照）が表示されており、これは本製品を家庭ごみとして廃棄してはならないことを示しています。

使用者には、すべての電子・電気機器の廃棄物を指定のリサイクル回収ポイントに移送し、適切に処理する責任があります。

これにより、本機器が適切にリサイクルされ、有害廃棄物として適切に管理されま

